

台風12号各地に被害!!



ランラン公園

8月25日、マリアナ諸島の西の海上で発生した台風12号は、9月3日、高知県東部に上陸し、西日本から北日本にかけて、広い範囲で記録的な大雨となりました。特に紀伊半島では降り始めからの総降水量が、多いところで1800ミリを超え、10月5日現在で、死者73人、行方不明者19人、全半壊住宅774棟の大きな被害をもたらしました。

蘭越町の状況は、9月2日から6日までの総降水量は244ミリ、1日の降水量は、9月2日に84ミリを記録しました。

対応状況

9月2日から5日まで、町内の被害状況を巡回監視しました。

9月5日、夜間から激しい雨が予想されるため、担当職員が役場に常駐し、気

象情報や、尻別川の水位を常時監視し、警戒態勢に入りました。6日、午前3時50分、蘭越町災害対策本部を設置。午前4時、宮谷内町長、山本副町長、長澤消防団長が、町内を巡視、午



冠水した水田(字大谷)

前5時25分から、産業経済課職員、役場消防予備隊が7班体制で、町内を巡視し、安全を確認しました。

尻別川の増水により、尻別川に流れる樋門が閉鎖されたため、町内6箇所、北海道開発局の排水ポンプ車による内水排除が行われました。

幸い、人的被害がなく、尻別川の水位も下がり始め、9月7日、正午に蘭越町災害対策本部は廃止されました。

台風12号による被害状況

農作物被害

水稲(冠水・倒伏)	370ha
大豆(冠水)	10ha
その他(冠水・倒伏)	171ha

農地(法面崩落等) 6箇所

農業用施設 5棟

町道被害

法面崩落	1箇所
路盤材流失	8箇所
倒木処理	1箇所

災害に備える

室内で負傷者多発

災害発生時、家族がそろっているのは非常に安心です。しかし、大災害時には、家の中でケガが多発することも忘れてはいけません。

大地震のとき、家具や冷蔵庫などの転倒や落下による負傷が少なくないことは、皆さんが知っているでしょう。しかし、実際に対策を講じている人は、どのくらいいるでしょうか？室内の安全対策のポイントは、まず高齢者や子どもが寝ている部屋の安全を確保することです。寝室にはできるだけ背の高い家具を置かないことを基本に、タンスや本棚、食器棚などは、倒れる方向が決まっています。万が一倒れた場合の向きを考えて家具を配

置したり、さまざまな固定器具で転倒防止策をしつかりとりましょう。

避難場所を確認する！

自分の身に危険が迫った時、電話やラジオ、テレビなどにより、避難勧告・避難指示があつたときは、ただちに避難しなければなりません。

地震が起きたとき、水害が起きたとき、その他のさまざまな災害が起きたときなど、いろいろな場合を考えて避難場所を確認しましょう。

避難場所までの避難経路も、職場や学校、よく行く施設など、いろいろな場面を想定し実際に道を歩いてしつかりチェックしておきましょう。

災害は突然やってくる

災害は、日中に起こるとは限りません。時間や季節の関係なく災害はやってきます。

ライフライン（電気、水道、電話等）が、寸断されても使うことのできる、懐中電灯や携帯型ラジオ、ポータブル型の暖房器具などを準備しておくことが重要です。特に夜間の避難は、大変危険です。河川や側溝、崖からできるだけ離れて避難するとともに、もし避難が困難な場合は、無理に外に出ず、救助を待つことも、選択肢の一つです。

災害時の連絡方法や集合場所を家族で決めておくことも、いざというときに役立ちます。

今一度、家族で災害時の避難方法等について、話してみてはいかがですか。

緊急速報「エリアメール」開始

町では、NTTドコモの緊急速報「エリアメール」の配信を10月1日から開始しました。

エリアメールは、町内に災害・避難情報が発令された場合に、町が配信元となり、NTTドコモの携帯電話で緊急情報を受信することができるサービスです。

緊急情報として、台風や大雨による土砂崩れや指定河川である尻別川の洪水などの自然災害、それに伴う避難情報など、住民の皆さまの安全に関わる様々な情報を配信いたします。

事前の登録は不要で、受信料は無料です。災害・避難情報が発令された場合に、町内にいるNTTドコモの携帯電話（一部非対応機種を除く。）を持つすべての人に緊急情報を配信いたします。

通話中、通信中並びに電波状態が悪い場所で、エリアメールは、受信できません。

エリアメールについて詳しくは、NTTドコモのホームページを御覧ください。

対応機種や操作方法については、NTTドコモ販売店等にお問い合わせください。

